

笑顔はじける二年に！ 平成19年新年を迎えて



子どもの心をなごませたい

平成15年6月に結成し、現在12人で絵本のおみかたりを行なっています。昨年4月からは中央図書館を中心に、さまざまな趣向を凝らしたおみかたりを行なっています。

絵本のおみかたりは、子どもだけでなく大人にも心なごめる時間を提供するものだと感じています。



よみかたりサークル
ぼけっとの皆さん

会をつくりたいです。
よみかたりが聞きたいという声がかかれば、市内のどこでも出向いてよみかたりをしますので、ぜひ声をかけてください。
自らが進んで一歩前に踏み出せるまち、お互いが助け合えるまちになるよう願っています。



年齢を超えた輪を作りたい



梶元博子さん 岡本トシ子さん 熊谷澄江さん
(宮浦六丁目) (明神三丁目) (宮浦六丁目)

宮浦コミュニティセンターで行われた、お正月料理教室に参加した皆さん。皆で仲良く料理を作ったりするのが楽しいと言います。初めて出会う人とのつながりや、年齢を超えた輪ができるのもコミュニティセンターでの活動の魅力です。

「いつも使っている材料でも、工夫すれば豪華なおせち料理ができるので、心をこめて家族にふるまいたいです」、「昨年はコミュニティセンターで卓球教室を立ち上げました。寒いときも暖房が必要ないくらい元気に楽しんでいます」、「コミュニティセンターの活動に参加して15年になります。還暦をすぎても元気です。楽しむことに年齢は関係ないですよ」とそれぞれとても意欲的です。

今年もコミュニティセンターを利用して、楽しくすごしたいと話してくれました。



人とのつながりや ふれあいの大切さを実感

合併と同時に、仕事の拠点が本郷町に移りました。福祉の仕事に携わっていますが、新しい地で、地域の皆さんに支えられて、何とか2回目の正月を迎えることができました。



岡林浩一さん(皆実六丁目)

「人」という字は、お互いが支え合っていていけると言われます。合併して大きなまちになっても、私たちの仕事において、小地域の福祉を考えると、改めてその支え合いの大切さを実感しています。

人はみんな幸せを願っています。「幸せを願う誰もが主役になれるまち」をめざして、これからも地域の皆さんを応援していけたらと思います。気軽に声をかけてもらえるよう、地域の皆さんとのふれあいを大切にしていきたいです。



創造する楽しさを彫刻で

もともと絵を描くのが好きで、美術系の短大に進みましたが、彫刻と出会い、今はものづくりの楽しさに熱中しています。

県美展で連続して、大賞受賞・入選したことがきっかけで、卒業後も、彫刻を続けたいと思うようになりました。今まで、人物や動物の作品を作りましたが、これからは、金属などを使った抽象的なオブ



家族で過ごす時間を大切に

ジエにも挑戦しようと思えます。

現在、卒業制作のかたわら、就職活動もしています。仕事と両立させ、こつこつと作品の数を増やして、個展を開くのが夢です。市民ギャラリーや、秋にオープンする芸術文化センターで、たくさんの人に自分の作品を見てもらいたいです。



東谷尚美さん(大和町上徳良)



井上潤さん 理園さん
望愛さん(久井町江木)

2年生になる理園さん。遊びも勉強も、いっぱいがんばります。

新1年生になる望愛さん。お姉ちゃんと一緒に小学校に通います。今からワクワク！

理園ちゃんが1歳のときから、寝る前の絵本タイムを続けています。昨年は念願かなって、絵本のよみかたりのボランティアを始めました。姉妹そろっ



小さなことは気にしない！ みんな楽しく暮らせるように

て絵本が大好き。普段は仕事が忙しいお父さん、よみかたりの出番は日曜日です。家族みんな健康で、一緒に過ごす時間を大切にしたいです。

「昨年は、試合でハットトリックも決めたよ。もっと上手になりたいな」と、今年1年生になるサッカーの大好きな諒河君。

昨年は、いじめや自殺など、子どもたちに関わる事件が相次ぎ、同じ子を持つ親として、心が痛みました。職場のボランティアで、小学校の下校時に見守り活動をしています。ときには、「危ないな」と感じる時もあります。もっと保護者と地域がスクラムを組んで、しっかりと子どもたちを守ってきたいと思っています。

家族では旅行に行ったり、冬はスノーボード、夏はウエイクボードをしたりして、一緒にすごせる時間をつくり、コミュニケーションをとるようにしています。子どもたちも喜んで話をしてくれそうです。

今年は、チャレンジの年として、明るく楽しい元氣な1年になるように、

家族一人ひとりが目標を決めて、がんばりたいです。



片岡克敏さん 佳奈さん、
諒河君 怜晏君(宮浦六丁目)